

【8月30日】

緊急事態宣言の中 2学期スタート



新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るっている中、2学期がスタートしました。夏休みを延長したり分散登校したりなどの対策をとる学校がある中で、瑞浪市の小中学校においては、感染予防策を徹底させて予定通り、本日より2学期に入りました。

始業式はこれまで通り放送によって行われました。第3期のねらい「仲間と創り出す」に向けて、

校長が「瑞浪北中が今創り出さなければならないのは『安心・安全な学校生活』である」と生徒たちによびかけました。その後、教頭より具体的な感染予防対策が話され、生徒たちは真剣な表情で聴いていました。

その後の学活では、担任が感染予防について念押しをし、2学期に向けて見通しをもたせながら、感染予防に対する生徒たちの意識を一層高めました。



白い葉のように見えるのは、
小さな紙で折った鶴です。
(生徒の作品より)

夏休み中の思い出を和気あいあいと語る時間もありました。生徒たちはこの状の中でもそれぞれに頑張るものを決めてひたむきに取り組みました。一人一人が学級の中で夏休みの思い出を順番に語り、笑いや拍手が自然と生まれました。

午後からは、いつもと違って時間を指定しないで避難訓練を行いました。避難場所も炎天下のグラウンドを避け、教室に変更しました。どの学年も急な訓練放送に慌てることなく、冷静に取り組みました。教室に入っからは、不審者が侵入した場合について担任が指導しました。